



住民の「守の鐘（もりのかね）」となる消防庁舎

まもる・みはる・そなえる「守」の役割と、防災・災害情報を発信する現代の「鐘」となる地域のランドマークとします。

県道から見た外観イメージ (CG)

設計の基本コンセプト

実施設計は、基本計画及び基本設計にて定めた整備基本方針を十分に踏まえ、以下の点に留意して行いました。

・初動・出動を最優先

諸室配置の機能性、動線の効率化を最優先し、災害時の迅速な初動体制を確立します。

・災害時の機能維持

インフラの2重化、自然エネルギーの活用等で、災害時にも確実な消防庁舎の機能維持を図ります。

・自助共助の意識付け

防災減災に関する展示・体験を通じて、住民への防災意識の普及啓発を図ります。

・消防職団員のスキルの向上

高度かつ多様な訓練が身近で行える訓練塔を整備し、職団員の資質の向上を図ります。

施設概要

所在地：埼玉県川越市御成町地内

敷地面積：約20,900㎡

・庁舎棟

用途：消防庁舎

建築面積：約2,400㎡

延床面積：約5,500㎡

階数：地上4階

構造規模：免震建築物

(鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造)

・訓練塔 (A・B・C塔)

用途：訓練塔

建築面積：約250㎡/170㎡/15㎡

延床面積：約870㎡/440㎡/60㎡

階数：地上5階 (A塔) /地上3階 (B・C塔)

構造規模：鉄筋コンクリート造 (A塔)

鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 (B・C塔)

・消防用自動車車庫

用途：自動車車庫

建築面積：約200㎡

延床面積：約220㎡

階数：地上1階

構造規模：鉄骨造

※各面積等は今後変更になる場合がございます。

設計の内容

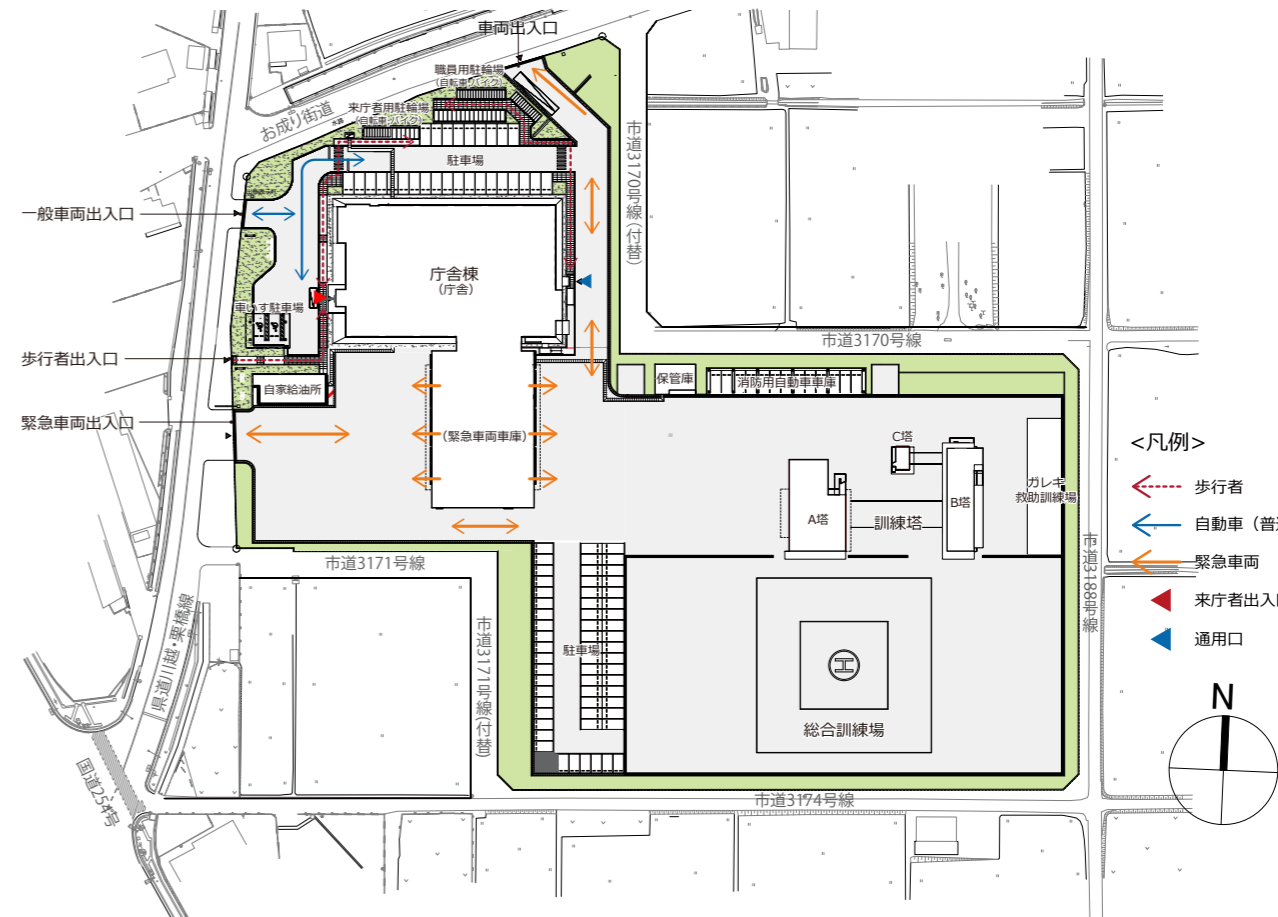
《全体配置計画》

- ・出動動線に配慮し、車庫から前面道路への速やかな出動が可能な配置計画とします。
- ・総合訓練場と訓練塔エリアを集約し、訓練や災害時等の活動拠点として十分なスペースを確保し、使いやすい計画とします。
- ・庁舎施設と周辺環境との調和を図るため十分な植栽を設け、緩衝帯を形成する計画とします。

《平面断面計画》

- ・庁舎は来庁者ゾーンと職員ゾーンに分け、セキュリティと迅速な出動動線を確保し、来庁者にも分かりやすい庁舎とします。
- ・階構成は、1階は来庁者の受付や災害対応にあたる川越北消防署を配置、2階は来庁者や職団員の利用する大会議室などを配置、3階は消防局を配置、4階は水害による浸水時も機能維持が必要となる設備を配置します。
- ・住民へ向けた防災学習施設は、庁舎のエントランスホールと訓練塔に配置します。

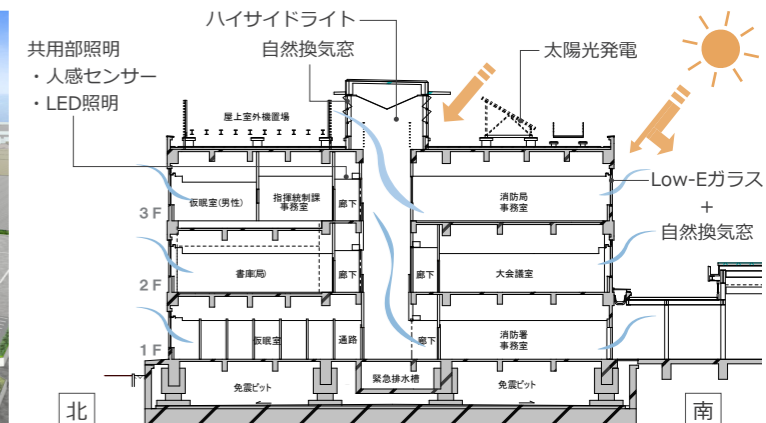
配置・平面計画



配置図



国道・県道交差点からの外観イメージ (CG) (南西より)



断面の環境負荷低減イメージ

環境配慮 (庁舎棟)

- ・窓ガラスは高断熱・高遮熱化を図り、南北面は採光と眺望を考慮した横連窓とします。
- ・外光を積極的に取入れた自然採光により、省エネルギー化を図ります。
- ・窓は自然通風を積極的に取り入れ、庁舎中心部の吹抜けへと導き、自然換気の活用を図ります。
- ・照明のLED化、外光利用制御や人感センサーの採用により、省電力化を図ります。

災害対策

- ・災害に強い施設づくりとして、庁舎棟への免震構造の採用や、水害時の浸水を想定して受変電設備等の重要設備室は上層階へ設置することで大規模災害時にも稼働可能な施設とします。
- ・水害に考慮し、計画敷地の地盤のかさ上げを行い、庁舎の浸水被害の低減を図ります。
- ・大規模災害時に備え、自家発電機設備、自家給油施設及び緊急排水層等の設置により、機能維持を図ります。

※本概要版に示す図面やイメージイラスト・CG等は、今後変更になる場合がございます。

〈問い合わせ先〉川越地区消防局 新消防庁舎建設準備室  
所在地：川越市神明町48番地4 電話：049-226-7410 FAX：049-226-7291 E-mail：chousha@119kawagoechiku.jp